

大阪科学・大学記者クラブ 御中
(同時提供先：和歌山県教育記者クラブ)

2025年11月13日
大阪公立大学
和歌山大学

公大・和太 相互開催！！

日本の「食と農」から岸和田の歴史「岸和田古城から岸和田城・城下町へ」まで幅広い学びを提供します！

大阪公立大学と和歌山大学は、2017年に大阪府立大学と和歌山大学とで締結した包括連携協定に基づき、両大学が有するサテライトにおいて幅広い分野の学びを提供することを目的として、両大学の研究者が入れ替わって登壇する公開講座を実施します。

今年度で8回目となる今回は、日本の「食と農」や、「岸和田古城から岸和田城・城下町へ」について、一般の方を対象に幅広い「学び」を提供します。

日本の食と農を考えよう		大阪公立大学 OMUSUBI (おむすび) 講座
 <p>キシガミ ミツヨシ 岸上 光克 和歌山大学 経済学部 教授／食農総合研究教育センター長</p>	<p>2025年12月10日(水) 18:00～19:30 @大阪公立大学 I-site なんば (大阪市浪速区敷津東 2-1-41 南海なんば第1ビル3階) 受講料：無料 事前申込：要(定員30名) 詳細：https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/event-06151.html</p>	
<p>「令和の米騒動」以降、日本の食料についての関心が高まっています。一方で、「食料」を生産する「農業」や「農村」への関心が必ずしも高いわけではありません。食料・農業・農村の現状を知り、食のまち・大阪で、これからの食と農を一緒に考えましょう。</p>		
<p>問い合わせ先：大阪公立大学 I-site なんば (大阪市浪速区敷津東 2-1-41 南海なんば第1ビル3階) 電話：06-7656-5112 メール：gr-shak-ext01@omu.ac.jp</p>		

岸和田古城から岸和田城・城下町へ 戦国時代、泉州の武家拠点の発達		和歌山大学 ワダイノ LIVE
 <p>ニキ ヒロシ 仁木 宏 大阪公立大学大学院 文学研究科 教授</p>	<p>2025年12月17日(水) 19:00～20:30 @南海浪切ホール(対面及びZoomウェビナーによる同時配信) (岸和田市港緑町 1-1 1F 多目的ホール) 受講料：無料 事前申込：要(定員：対面80名・オンライン100名) 詳細：https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/news/2025090300029/</p>	
<p>岸和田の歴史は、南海「岸和田」駅南東にあった岸和田古城から始まります。長らく謎とされてきたその姿は、古絵図や2006年の発掘調査によって徐々に明らかになってきました。やがて拠点は現在の岸和田城の場所へと移され、海辺に新たな城下町が築かれていきます。なぜ場所を移し、どのような町が生まれたのか。この講演では、出土品や絵図を手がかりに、戦国時代の城と町の謎に迫ります。歴史のパズルを一緒に解き明かしてみませんか？</p>		
<p>問い合わせ先：和歌山大学 岸和田サテライト (岸和田市港緑町 1-1 南海浪切ホール 2F) 電話：072-433-0875 メール：kishiwadastaff@ml.wakayama-u.ac.jp</p>		

<これまでの経緯>

大阪府立大学と和歌山大学は、両大学が行う教育・研究活動における交流や連携を推進し、相互の教育・研究の一層の進展と地域社会および国際世界の発展に資することを目的とした包括連携協定を結ぶことに合意し、2017年1月24日に調印式を執り行いました。

両大学はこれまでも、南大阪地域大学コンソーシアム、大阪府立大学工学研究科と和歌山大学システム工学研究科による「工学研究シーズ合同発表会」、文部科学省の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」等において連携実績があります。2022年4月に大阪府立大学が大阪市立大学と統合し大阪公立大学となって以降も、両大学の包括連携協定は継続されています。今般の取組により引き続き生涯学習分野における連携を深めていきます。

<注意事項>

感染症の流行や自然災害等の影響により、講座は変更、中止となる可能性があります。

【本件に関する問い合わせ先】

◆大阪公立大学 OMUSUBI（おむすび）講座

担当：山口・植野（産学官民共創推進室 社会連携担当）

電話：06-7656-5112 メール：gr-shak-ext01@omu.ac.jp

◆和歌山大学 ワダイノ LIVE

担当：和田（南大阪地域連携室 岸和田サテライト）

電話：072-433-0875 メール：kishiwadastaff@ml.wakayama-u.ac.jp